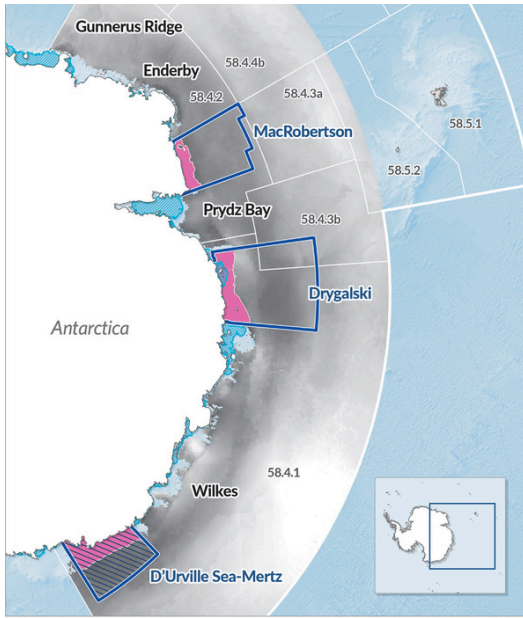




東南極海洋保護区

東南極はインド洋の真南に位置します。この最果ての自然は、南極で最も人を寄せ付けない、地球上で最も寒冷で最も強い風の吹く場所です。



97万平方キロメートル (37万5000平方マイル)

提案

2012年から

提案国: オーストラリア、EUおよびフランスを中心とした加盟国

共同提案国: インド、ニュージーランド、ノルウェー、韓国、ウクライナ、イギリス、アメリカ、ウルグアイ

ゾーン: 高度保護海域および調査海域

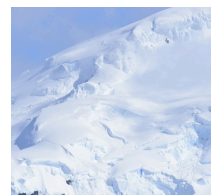
提案されている東南極海洋保護区は、東南極における外洋と海底の生物多様性の代表的な地域を保護することを目的としており、複数の重要野鳥生息地が含まれます。南極の氷や陸の上で繁殖や換毛・換羽をするアザラシやペンギンは、その付近の餌に依存しており、海洋保護区は確認されている採餌場を含むように立案されています。水面下では、冷水域サンゴや、海山、脆弱な海底地域といった独特の生息地が、酸素の豊富な極寒の水中に固有の生物群集を支えています。



オットセイとゾウアザラシは、氷上と陸上の両方で繁殖と換毛をし、付近の沿岸海域で餌を求めます。



ナンキョクフルマカモメやユキドリ、アデリーペンギンやコウテイペンギンなどの海鳥も東南極で採餌し、営巣します。



東南極のデュルヴィル海・メルツ氷河周辺海域は、地球規模の海洋大循環に不可欠な南極底層水の形成に重要な役割を果たしています。



www.asoc.org

antarceticsouthern
antarceticsouthern
antarcicasouth



1320 19th Street NW
Fifth Floor
Washington, DC 20036

